

手をつなぐ会

1995.2.7 No. 43

手をつなぐ会

手をつなぐ会



全国に広がる「手をつなぐ会」

1月23日(月) 朝日新聞全国版に「福岡で、いのちのネット
ワーク」をづくろうという動きがあることが、そして「この活動
はアジアまで」ということで、「手をつなぐ会」が紹介されまし
た。また、いつも協力して頂いている「ソロプチニスト福岡東」
の活動として本部の全国機関誌に「手をつなぐ会」のことが
掲載されました。

全国に知られ広がって行く
ことをみなさんとともによろ
こびたいと思います。それと
同時に責任ある会として、み
んなの力を合わせて元気に
着実に進んで行きましょう。

(大木松子)



(1)

a) 保健センターの建設進む

昨年7月の段階で、村の開発センターとして使う目的で2階建ての建物ができました。その時点では1階と2階は単なる大きなホールになって、実際に仕事ができるような状況ではありませんでした。ションダニの会員やNuruzzaman医師と相談してその1階を母子保健センターにすることにし、目的に合わせてそのホールをいくつかの部屋にするように指示してきました。村から届いた報告では、予定通り区切りの仕事が終わり、建物全体が完成し、きれいな写真がこちらに送ってきました。

b) いよいよ宿舎建設が始まった

母子保健センターに勤める医師や看護婦や医療に関係する職員のための宿舎の建築が1月の初め頃始まり、2月2日時点で、窓の上まで出来上がっているようです。昨年の経験に基づいてみんな張り切って頑張っています。年寄りから若者までみな一生懸命に努力して、とにかく7月に日本からの訪問団が来る前に完成させたいということです。今年は、2階まで完成し、4軒の家になりそうです。また、main buildingの3階の工事も始まり、2月2日時点で、窓の下まで出来上がっています。3階が完成されると、職業訓練場として使われます。

c) 母子保健センターの有効運営に関して

この施設を有効的、かつ能率的に運営するためにはかなりの知識が必要とされます。そのために、ションダニの役員たちはいろいろ考え、いろんなところで研修を受けています。12月に裸足の医者エクラムルさんと会の幹事長のレザウルさんはダッカのある研修センターで2週間の研修を受けました。研修の内容はとくに診療所の運営や村全体の健康管理についてです。

d) パラシバラ中学生に奨学金を

今までカラムディ中学校に通う子供達や、カラムディ村出身の高校生や大学生だけがションダニより奨学金をもらい、勉強してきました。しかしその結果として、隣の村とのいづらか格差が見られ、また村人から不満の声も時々聞こえてきました。このようなことが起こらないように、ションダニは改めて考え、隣の村にあるパラシバラ中学校に通う10人の中学生に奨学金を与える事を決めました。このことは、一つの村だけでなく、地域全体が同時に発展することを目指してでしょう。

チャリティバザー

ご協力ありがとうございました

1月29日、恒例のバングラデシュ・チャリティバザーを西新商店街のいつもの場所で開きました。一年中でもっとも冷えるこの時期、小雪の舞う中で道行く人々に、大きな声で呼びかけるのも、堂に入ったものでした。でも寒さには芯から冷え込んでしまいました。それでも立ち止まって下さる人、人、——のお陰で心は暖まりました。

パンは100袋を売りつくし、酒、日用品、食べ物の順でよく売れましたが、衣類は値下げをしたにもかかわらず売れ残ってしまいました。安い衣料品が外国から大量に入ってきているからでしょうか。

売り上げの純利益は、63,001円でした。

この売り上げの半分は、阪神大震災の救援募金としてNGO福岡ネットワークを通して現地のNGOのグループへ送らせていただきます。



募金ありがとうございました。

福岡友の会 子供部

さわら老健センター入所の皆さん

新津教会 婦人会

川浪病院の職員の皆さん

ゆめ美容室

福岡渡辺通教会 婦人会

アンジェラス

茂呂塾保育園

岩崎洋子さん (お香典返しとして)

—— 会員の声 ——

阪神大震災では多数の死傷者、40万以上の家屋が破壊し大変な災害となりました。一日も早い復興を願っています。

1月29日に恒例のチャリティバザーを、阪神大震災とバングラデシュの会の募金のためと二本立てで実施しました。17日以降テレビを見てる人だった私も、寒さに負けないゾーとにぎやかに声を張り上げ売り子になり、天候の割には成果があったかなと思っています。私は会員となってまだ3年位ですが、最初の「小学校をつくる会」からの大先輩会員より引き継がれている歴史、ご努力、ご苦労、に思いを馳せています。

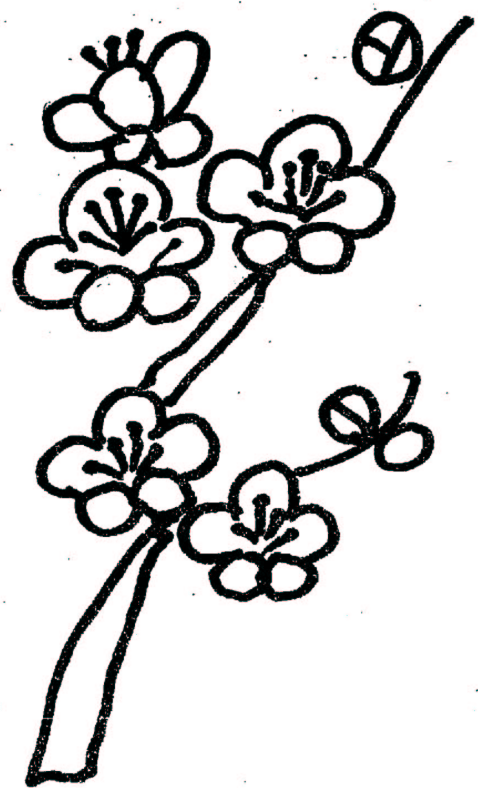
ボランティアとは、「困難な状況に立っている人と自分を同じ問題の中におき、相手への関わりを自ら選択する人だ」という。(金子郁容著「ボランティア」より) 私たちは小学校、そして去年は保健センターの建設に関わり、いよいよ本年は開業の年になります。カラムディ村の人々と共に歩きたいと志した会員、協力会員の皆様のより一層の援助をお願いしたいものです。

センターの器材費、運営費、人材育成等に、会費、募金、バザーの売上金が役立っています。会員の拡大(質、量とも)も必要です。しかし、志のある会員(普通の人)がわずかの時間でも手伝い、効率の良い仕事ができればと思います。現在は一部だけの人に負担がかかりすぎてはいないでしょうか。幹部の人はどんな仕事があるのか具体的に提示し、会員は自分の得意な分野、好きなこと、したいことなどを申告してはどうでしょうか。日時なども……。

この会の発展を願い、バングラデシュの人々、カラムディ村の人々と手をつないでゆきたいものです。その内にカラムディ村訪問ツアーも実施されるかもしれません。その時はぜひ参加し、村人との交流を夢見しています。

(瀬良 照子)

(4)



「会員の声」にごたえて

一面にも書きましたように、「手をつなく会」は全国的にもその活動が認められ、評価を受けています。瀬良さんのご意見のように、会員の拡大、会員みんなの力を集めた活動にしたいと思っています。

14日に会計や発送についての話し合い、そして19日の運営委員会でじっくり考えたいと思っています。3月号のミロンには具体的な「お願い」をのせますのでしばらくお待ち下さい。

(大木)

講演ならびに報告会

(昨年の方)

- 12月5日(月) 福岡女子短大「国際貢献とは何か？」ラフマン
学生約130名
- 12月6日(火) 福岡公民館・福寿大学(福岡町教委主催)「国際交流」
ラフマン お年寄り中心に30名余り
- 12月17日(土) 佐賀県唐津市大成公民館(唐津教委の社会教育)
「日本の国際化とバングラデシュ」ラフマン
一般市民30名

(今年に入って)

- 1月17日(火) 博若会(博多区の若手開業医の勉強会)
「バングラデシュを通して見えてきたもの」二ノ坂
- 1月20日(金) 前原ロータリークラブ
ラフマン、二ノ坂

第3回アジアテレビ映像祭が催されました

1月7日(土)にNHK福岡放送局で第3回「アジアテレビ映像祭」が催されました。この映像祭は第1回岡山、第2回大阪に続くもので、今回は日本やアジア9ヶ国から38本の映像の参加がありました。その中から日本部門3本とアジア部門4本が当日上映されました。いずれも力作ばかりで、バンクラデシュにも近いネパールTVからの不可触階級の母子の生活を描いた「壁」、鳥を愛する男性の心を美しい自然の映像に溶け込ませたインドのドラマ「鳥よはばたけ」など、とても充実した映像祭でした。その中でテレビ静岡が製作した「愛親覚羅顕琦-清朝王女の奮闘記」が最も印象に残りました。過去の栄光や蹉跌に捕われることなく、しっかりと今の自分を見つめ、自分自身や家族、仕事を心から大切にしている愛親覚羅顕琦さん(清王朝の肅親王の王女)の姿を実に丁寧にドキュメントした作品でした。

またこの作品は、彼女の生き方を通して、私たちにとって権力や栄誉と異なる大切なものは何かということを教えてくださいました。

アジアに生きている私にとって、このような映像祭によって、アジアの息吹に触れるのはとても豊かな気持ちになります。メジャーな映画興業では見ることの出来ない真珠のようなアジアの映画や映像をこれからも見る機会がありますようにと思わず祈りながら会場を後にした映像祭でした。

☞蛇足ですがベトナム映画の「青いパイヤの香り」は絶対のお勧めです。アジアの一員であることを思わず感謝する映画です。悪いけどハリウッドでは作ることが出来ない映画だと思います。(文責:アジア映画狂)

~~~~~NGO福岡ネットワークから~~~~~

### 初めての総会が開かれました。

1月21日(土)三和メディカルホールでNGO福岡ネットワーク総会が開かれました。初めての総会では、参加各団体、個人が集まり会則、会費、事務局などを決めました。JVCのタイの活動家の報告講演のあとは、焼き鳥をつまみながらの交流会となりました。忙しい参加者が初めてゆっくりと語り合う機会でした。これを契機にNGO同士の横のつながりがもっと深まることを願っています。

次回は3月18日(土) いつもの福岡学生交流会館です。

内容は、NGO初級会計セミナーの報告です。



会員の高尾さんが昨年末からお正月にかけて、インドを訪問しました。今回が2度目の訪問という彼女は、カルカッタのマザーテレサの家や釈迦の足跡などを訪ねたそうです。なかでもガンジス川はたいへん心に残ったようです。

## インド《聖なる河・ガンガー》

高尾 礼子

ガンジス河は全インドの魂の故郷。人は生き、人は死ぬ。あらゆる人生を含んで。のぼる朝日が私を包む。優しく あたたかく…。もはや私の中には生も死も存在しない。私さえない。光の世界。

「私たちはこの世に——」私の意識が広がっていく。過去と未来がつながる時、過去の記憶が呼びもどされる。生まれてくる時の約束。想い。ああ、全身を喜びがつきぬける。なつかしさと優しさと悲しみに涙がこみあげてくる。このために私はやってきたのか。三十年もかけてただこのことを知るために…。聖なる河・ガンガーにて私は自分の生を受け入れることができた。



## ♡子どもたちにバングラのお話を！♡

国の将来を背負う子どもたちにもバン格拉デシュの話や、国際協力の話をしてほしいという希望が来ています。

2月13日(月) 二丈町一貴山(いきさん)小学校の社会科の授業の一環として「日本にとって大切な国際協力とは」のテーマで二ノ坂さん、

3月4日(土)に日本聖公会福岡教会でガールスカウトに大木さんが、「国際協力とバン格拉デシュ」について話す予定です。

他にもご希望があればお申し出下さい。



## お知らせとお願い

恒例のチャリティバザール

〈おねがい〉

純益は63,001円でした。  
ご協力ありがとうございました。

皆さんの暖かいおもいをバン  
グラデシュへ送ります。

毎月の広報紙の発行部数が増える一方で作業が大変です。「おりっこ」があったらなと、声が上がっています。不要になった「おりっこ」「電動紙折り器」をお持ちの方で、ゆずってくださる方がありましたらお知らせください。

総 会

4月の終わり頃に予定しています。もちろん日曜日です。

場所・時間は3月号でお知らせします。

多くのご参加を願っています。

運営委員会

2月19日(日) 1:30~ 大木さん宅

3月19日(日) 1:30~ 大木さん宅

作 業 日 (お手伝いお願いします。)

2月8日(木)1:30~

9日(木)1:30~

3月8日(木)1:30~

月9日(木)1:30~



バングラデシュと手をつなぐ会

〒814

福岡市早良区西新5-5-13

FAX・TEL092(822)5795

代表 大木松子

送金先 郵便振替

01720-2-10442

バングラデシュと手をつなぐ会